

被爆者の願い、人類の望み ——核兵器のない世界を

原爆の被害とは、「72年間 1日も絶えることなく、いまもつづいている被害」なのです。

2020年のNPT再検討会議に向けて、被爆者の皆さんが初めて核兵器廃絶署名（ヒバクシャ国際署名）を呼びかけました。

木戸さんに被爆者の皆さんの思いを語って頂きます。



講師

木戸季市氏

(日本被団協事務局次長)

とき

7月8日(土) 午後3時～5時

会場

プラザホープ2F
多目的室

和歌山市北出島1丁目5-47

TEL 073-425-3336

(ビッグホエール北西隣り)

プロフィール

1940年、長崎に生まれる。1945年8月9日、長崎市旭町（爆心から2km）の路上で被爆。

1991年、岐阜県原爆被爆者の会結成に参加し、現在まで事務局長。

2008年から日本被団協事務局次長。

2010年NPT再検討会議ニューヨーク行動では、日本被団協代表団の事務局長をつとめ、代表団帰国後も5月末まで一人ニューヨークに残って活動した。

2015年NPT再検討会議ニューヨーク行動でも、事務局長をつとめた。

2016年に被爆者が呼びかけた「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」では、同署名推進連絡会の事務局メンバーとして活動している。

岐阜聖徳学園大学短期大学部名誉教授。